

# 記入例

第五十五号の五様式（附則第二条の四関係）

令和 年 寄附分 市町村民税  
道庁民税

寄附金税額控除に係る申告特例申請書

令和 年 月 日 青梅市長 殿	整理番号	必ず捺印してください。 (印鑑は朱肉を使用するもの)
住所 〒198-8701 東京都青梅市東青梅1-11-1	フリガナ オウメ タロウ	青梅
電話番号 0428-22-1111	氏名 青梅 太郎	
	個人番号 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	性別 男	
	生年月日 明・大 昭・平 45・6・7	

「個人番号」欄には、あなたが行方手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律

太枠内の項目をすべて記入してください。

**個人番号も必ず記入のうえ、番号確認、身元確認書類も提出してください。**

(注意) 記載内容について、年内に変更が生じた場合は、申告特例申請書変更届書の提出が必要です。

(注1) 上記に記載した内容に変更があった場合、申告特例対象年の翌年の1月10日までに、申告特例申請事項変更届出書を提出してください。

(注2) 申告の特例の適用を受けるために申請を行った者が、地方税法附則第7条第6項(第13項)各号のいずれかに該当する場合には、申告特例対象年に支出した全ての寄附金(同項第4号に該当する場合には、同号に係るものに限る。)について申告の特例の適用は受けられなくなります。その場合に寄附金税額控除の適用を受けるためには、当該寄附金税額控除に関する事項を記載した確定申告書又は市町村民税・道府県民税の申告書を提出してください。

寄附金を払い込まれた日および寄附金額を記入してください。  
(同じ自治体に複数回寄付をした場合、その都度申請書の提出が必要で)

1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
令和 年 2月 1日	20,000円

2. 申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合は、それぞれ下の欄の口にチェックをしてください。

確定申告および住民税申告が不要である場合は、 (チェック)してください。

① 地方税法附則第7条第1項(第8項)に規定する申告特例対象寄附者である	<input checked="" type="checkbox"/>
--------------------------------------	-------------------------------------

(注) 地方税法附則第7条第1項(第8項)に規定する申告特例対象寄附者とは、(1)及び(2)に該当すると見込まれる者をいいます。

**①と②どちらも該当する場合のみ、ワンストップ特例の申請が可能です。**

支出する年の年分の所得税に課税される寄附者又は同法第121条(第1項)に規定する寄附者

ワンストップ特例申請で寄付をする自治体数が、年間で5自治体以下であると見込まれる場合は、 (チェック)してください。

② 地方税法附則第7条第2項(第9項)に規定する要件に該当する者である	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------------	-------------------------------------

(注) 地方税法附則第7条第2項(第9項)に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め申告特例対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数が5以下である者

住所・氏名を記入してください。申告特例申請書を提出いただいた方に、青梅市で受け付けした旨を、以下のとおりお知らせいたします。  
 ・ 寄付申込書にメールアドレスの記載のある方 … ご連絡いただいたメールアドレスにお知らせいたします。  
 ・ " " 記載のない方 … 郵送にて受付書を送付いたします。

令和 年 寄附分

寄附金税額控除に係る申告特例申請書受付書

住所 東京都青梅市東青梅1-11-1	受付日付印
氏名 青梅 太郎	殿

受付団体名	東京都青梅市
-------	--------